

---

2019年7月12日(金) 国崎 イサキ釣り 功成丸 ツレと  
 小潮:旧6/10 干潮08:37(64cm) 満潮15:23(170cm) 干潮20:45(111cm) 鳥羽  
 イサキ ~35cm (前回より小ぶり) 自分 13尾 ツレ 6尾  
 自分: マダイ25cm チダイ28cm カツオ30cm ツバス1尾  
 ツレ: チダイ33cm カツオ30cm

---

10時30分	現地着 酔い止めを飲む	18時00分	納竿 沖上がり
11時00分	釣り座抽選		
	準備ができしだい出船	翌日の午前中	魚処理3時間
15時23分	満潮(170cm) 鳥羽		

【料金】 乗り合い 9,000円 アミエビ、仕掛け、氷付き 釣り座は抽選  
 刺しエサのサービスはなくなった。

【仕掛け】 電動リール 竿受け おもり 80・100・120号 (一日100号だった。)  
 天秤(大型) コマセカゴ(中型:アミエビ用) クッションゴム 直径1.5mm 長さ50cm  
 サービス仕掛け 国崎 功成丸「イサキ」  
 イサキ鉤8号 幹糸3号 ハリス3号 枝30cm 枝間60cm 全長1.8m  
 ※魚を絞めるためゴム手袋、ナイフ  
 ※コマセカゴにアミエビをいれるレンゲは備え付けてある。  
 ※付け餌がないので、イカ短、オキアミ、小さな白いワームを持参した。ワームは使わなかつた。

【様子】

- 天気予報を見て2日前に予約した。午後からは曇りで、風も少々だった。午前の便が波が高いということで中止になり、その関係か午前11時すぎには出船となった。出船するとうねりがかなり残っていた。うねりがかなりあったことに加え、出船が早くなって酔い止めが効き出す前に、ツレが酔ってしまった。自分は大丈夫だった。
- 釣り座は抽選。1番くじを引いた。大艦に二人で並んだ。
- ツレは、イサキ5、チダイ、カツオを釣って、ダウンした。
- この間、自分は2~3尾しか釣っていなかった。1投目、巻き上げてきたら、手前祭り。2投目、またしても手前祭り。棚を探っていたが見つからないという状況だった。
- 今日、出船を早くしたのは、午前便が中止になったことに加え、15:23の満潮後、潮の流れがほとんどなく、釣果が期待できないと船長が判断したかもしれない。(干潮時との潮位差は59cmであった。)
- 潮が動いている釣れる時間帯に手前祭りや棚探しをしては釣果は上がらない。
- 潮の状況を把握して、釣りに臨むべきだった。普段、心がけているつもりだったが…。
- 船が移動するたびに、錨をかけ直すたびに、「水深〇m」、「棚は〇m、または、棚は底から〇m、または、底から〇m~〇m」とアナウンスがある。
- おもり100号で道糸がほんの少し斜めに入るが、指示棚どおりと考えた。指示棚を点ではなく線で捉えるなら、指示棚どおりで探れば良いと思う。
- 釣り方は次のとおり。一日、この釣り方で釣った。
- 指示棚から2m下から上2mを誘っていった。仕掛けを落とす。仕掛けがなじんだら、竿を大きく2回振り上げ、リールを2回巻く(1.2m巻き上げる。仕掛けの長さ1.8m+クッションゴム0.5m=2.3m)

- 当たりがないときは、次の投入では、先ほどより2m下から誘う、あるいは2m上から誘い始め、さきほどより2m上まで誘うという方法も試した。2m上のやり方で釣れたこともあった。
- 釣れた棚で再び誘うが、そこで釣れるということにはなかった。
- 今日はあまり当たらなかった。ポツリポツリと拾い釣りといった感じだった。
- 時間が経つにつれ、うねりは収まっていった。途中、ツレは復活して、イサキを1尾追加したが、やっぱりだめだった。一度、酔ってしまうと復活は難しい。
- 付け餌にイカ短、オキアミ、小さな白いワームを持参した。イカ短をずっと使っていた。オキアミに変えたときもあったが、釣果が変わる感じではなかった。持ちの良いイカ短で釣り続けた。あまり釣れなかったのも、ワームは試さなかった。
- イカ短は、スーパーでリングに切ったスルメイカを購入した。皮をむいておいた。一人リング2本で十分であった。オキアミは来る途中の餌屋で購入した。
- 「餌が一番下の鉤に付ける。上にも付けると、仕掛けがぐるぐる回って釣れない。」と船長は言う。イサキが掛かるのは、餌の付いている一番下の鉤が多い。しかし、時々、餌のない上の鉤にも掛かってくる。今日もダブルが1回あったし、一番上の鉤に掛かってきたこともあった。一番下の鉤に餌を付ける理由は何だろうか。一番下に餌を付けることで、仕掛け全体を引っ張らせ、仕掛け全体を流れに乗せるとい効果だろうか。船長のアドバイスにもかかわらず、すべての鉤にオキアミを付けて釣っている人がいるのも事実で、その人も釣果を出している。
- ミヨシで上手に釣っている人がいる。聞いたところによると、釣り方は次のようだ。  
「ゆっくり電動で巻き上げていく。時々、竿を小さく振って、コマセを撒く。」
- 今日の釣果は、他のお客さんと同じ程度の釣果だったから、まずまずということか。
- 家に帰って魚をさばくのに3時間かかった。カツオの処理があったからだろうか。
- イサキのお腹には卵がぎっしり詰まっていた。19尾中、白子は2尾しかなかった。真子：白子19：2

#### 【今回の釣り方】

- おもり100号で道糸がほんの少し斜めに入るが、指示棚どおりと考えた。指示棚を点ではなく線で捉えるなら、指示棚どおりで探れば良いと思う。
- 指示棚から2m下から上2mを誘っていった。仕掛けを落とす。仕掛けがなじんだら、竿を大きく2回振り上げ、リールを2回巻く(1.2m巻き上げる。仕掛けの長さ1.8m+クッションゴム0.5m=2.3m)
- 当たりがないときは、次の投入では、先ほどより2m下から誘う、あるいは2m上から誘い始め、さきほどより2m上まで誘うという方法も試した。2m上のやり方で釣れたこともあった。
- ミヨシで上手に釣っている人がいる。聞いたところによると、釣り方は次のようだ。  
「ゆっくり電動で巻き上げていく。時々、竿を小さく振って、コマセを撒く。」

#### 【前回の釣り方】

- 「指示棚から3m下へ仕掛けを落とす。仕掛けがなじむのを待つ。なじんだら、竿を大きく振り上げる。竿を戻しつつ1m巻き上げて待つ。当たりがあるのを待つ。なければ、竿を大きく振り上げる。竿を戻しつつ1m巻き上げる。当たりを待つ。これを繰り返して、指示棚から2m上まで繰り返す。」
- これで当たりがなければ、「コマセを詰めるために巻き上げる。」 または、「もう一度指示棚下3mまで落とし、指示棚2m上まで誘い、当たりがなければコマセを詰めるために巻き上げる。」
- 竿を大きく振り上げて、竿を戻しつつ1m巻き上げるのは、撒かれたコマセに仕掛けを同調させるためである。
- ※竿を大きく振り上げてコマセを撒かなくても、コマセがでるようにゆさゆさと竿を振るだけで良いのではないだろうか。
- ※仕掛けを1m巻き上げて待つ時間は、棚を探るときには仕掛けがなじむのを待つ程度でよい。活性が高いときもこれでよい。

### 【2連3連を狙う】(前回の記述)

- 当たりがあったら、すぐに巻き上げずに追い食いを狙う。
- 当たりがあったら、手巻きでゆっくり2mくらい巻き上げる。これにより追い食いさせる。3mを越えたら回収スピードで巻き上げる。回収スピードは、自分はシーボーグ300Jでスピード14、ツレはビーストマスター3000XPでスピード11だった。
- ※今回は追い食いを狙うというより、確実に当たりを掛けるという感じだった。良型が多く、よく引いたので、2連3連を狙わずにそのまま巻き上げた。

<今回>

- ※当たりが少なかったなので、1尾を確実に釣り上げるといった感じだった。2尾目を狙うという発想はなかった。

